

施策分析シート（令和7年度）

No1

施策名	体験学習等の推進	施策No	04-03	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課
関連部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課、子ども家庭部児童青少年課、教育委員会事務局学務課・指導室	課長名	須田 内線		2520
行政評価事業体系	分野	Ⅱ	子育て教育都市		
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成		

目的	自然体験等を通して、子どもたちに「生きる力」や「思いやりの心」、「他者への共感」「自己肯定感」等を育む。また、ものづくり体験や勤労体験を通じて、子どもたちの「創造性」や「自主性」を醸成する。							
指標	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文		
			4年度	5年度	6年度			
	①	「生きる力」の習得	3.55	3.66	3.56	お子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけていると思いますか？		
	②	子どもの成長の実感	4.25	4.30	4.24	お子さんが、健やかに成長していると感じますか？		
	③	規則正しい生活習慣の習得	3.68	3.66	3.67	お子さんが規則正しい生活習慣を身に付けていると思いますか？		
	④	災害時の絆・助け合い	2.50	2.48	2.46	災害時に近所の人と助け合う関係があると感じますか？		
	施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			4年度	5年度	6年度	7年度見込み	目標値(8年度)	
	①	自然体験事業参加者数（人）	103	131	134	155	170	チャレンジキャンプ、全国連携・中高生キャンプの参加者数
	②							
	③							
	④							
	⑤							

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目		5年度	6年度	差額	勘定科目		5年度	6年度	差額
	行政費用	給与関係費	15,376	20,383	5,007	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	137,307	171,262	33,955		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	10,532	4,453	▲ 6,079		都支支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	9,650	10,498	848		使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	22,424	21,815	▲ 609		その他	12,792	12,854	62
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	12,792	12,854	62
		賞与・退職給与引当金繰入額	2,939	4,858	1,919		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 185,436	▲ 220,415	▲ 34,979
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	▲ 4	▲ 4	0
行政費用合計(b)		198,228	233,269	35,041	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 185,440	▲ 220,419	▲ 34,979	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 185,440	▲ 220,419	▲ 34,979	
貸借対照表	勘定科目		5年度	6年度	差額	勘定科目		5年度	6年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		2,539	2,010	▲ 529
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	1,249	1,249	0
	固定資産	有形固定資産	241,217	226,064	▲ 15,153	固定負債	賞与引当金	556	761	205
		土地	87,041	87,041	0		その他の流動負債	734	0	▲ 734
		建物	764,026	770,687	6,661		固定負債	15,891	18,254	2,363
		建物減価償却累計額	▲ 609,850	▲ 631,664	▲ 21,814		特別区債	7,503	6,254	▲ 1,249
		工作物等	4,209	4,209	0		退職給与引当金	8,388	12,000	3,612
		工作物等減価償却累計額	▲ 4,209	▲ 4,209	0		その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	18,430	20,264	1,834
		建設仮勘定	0	0	0		正味財産	229,448	205,800	▲ 23,648
		その他の固定資産	6,661	0	▲ 6,661		正味財産の部合計	229,448	205,800	▲ 23,648
		資産の部合計		247,878	226,064		▲ 21,814	負債及び正味財産の部合計		247,878

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用として、物件費の割合が高くなっており、主に清里・下田移動教室事業が多く占めている。5年度と6年度の差額は、主にバス借上げ料の高騰によるものである。
- 6年度の行政収入のその他は、賄収入等である。
- 貸借対照表に計上されている有形固定資産は下田臨海学園に関するものである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○荒川区自治総合研究所による平成27年度の「自然体験を通じた子どもの健全育成研究プロジェクト」において、自然体験が子どもたちに与える影響について研究した結果、自然体験により磨かれた感性は多くの体験の機会を与え、それが間接的に「生きる力」の滋養を促し、その結果、現実肯定感が大きく向上すると分析している。 ○研究結果により、国内交流都市ツアー、自然体験を通じた青少年健全育成活動事業補助等の相互交流事業及び全国連携事業など自然体験事業を実施している。 ○中学校では、職業観や勤労観を培うキャリア教育を充実させるために、社会生活での責任や勤労の大切さを体験的に学ばせる「勤労留学」を全校で実施している。 ○区では、自然まるかじり体験塾や小中学生のチャレンジキャンプ等、様々な自然体験関連事業を実施及び支援している。
課題	○荒川区自治総合研究所の研究結果を踏まえ、さらに子どもたちが多様な経験を積むことができる機会を拡充していくことが求められる。 ○子どもたちが親元を離れて生活する自然体験事業への参加を促すには、保護者が自然に関心を持ち、自然体験事業への意義を理解することが大切である。 ○「勤労留学」等の社会体験活動が、子どもたちの社会生活での責任感を養うとともに、自分の将来を考える機会となるよう、多様な体験の機会を設ける必要がある。
今後の方向性	○自然への畏敬の念や子どもたちの「生きる力」を育むため、豊かな自然があふれる自治体や子ども関連団体、NPO等との連携により、これまで以上に自然体験事業の質・量共に充実を図り、自然体験事業の裾野を広げる。 ○親子で参加できる自然体験教室など、保護者の自然体験への関心等が高まる工夫をし、子どもたちが積極的に自然体験の機会を得られるよう環境を整える。 ○身近な地域での多様な体験や、人との交流・活動を通じて子どもたちに他者への共感や思いやりなどの豊かな心を育むとともに、自らの生き方を主体的に考えられるよう、キャリア教育の更なる充実を図っていく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
7年度	8年度	
重点的に推進	重点的に推進	子どもたちの健全育成に必要な体験活動を推進するため、自然体験を通じた、体験活動の充実を図り、地域と一体となった子どもたちの健全育成に努める。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		5年度	6年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
少年団体指導者連絡会事業費	05-02-01	4,393	7,176	2,622	3,688	重点的に推進	重点的に推進	コロナ禍では中止となったが、体験活動は子どもたちの健全育成に必要であり、自然への畏敬の念や自主性、協調性、社会性といった「生きる力」を育むために重要な事業であるため、重点的に推進する。
少年教室	05-02-02	7,525	7,492	882	953	継続	継続	子どもに多様な体験をさせる事業であるため、継続して実施する。
下田臨海学園	13-03-34	81,737	78,679	58,194	54,525	推進	推進	水泳を中心とした心身の鍛錬や海での自然体験は学校では体験できないものであり、優先度は高いため、推進する。
体験学習推進事業	13-04-03	4,382	5,530	2,357	2,231	推進	推進	地域と連携し勤労留学を推進していく。
清里移動教室	13-04-05	40,716	61,387	39,906	56,636	継続	継続	学校の創意工夫を支援し、継続して実施する。
下田移動教室	13-04-06	59,475	73,002	55,290	68,912	継続	継続	学校の創意工夫を支援し、継続して実施する。
合 計		198,228	233,266	159,251	186,945			